

「きりたんぽ出来たよ！」

(岩手県大槌町からの修学旅行風景)

写真提供：吉田博光さん(鶴川字東鵜の巣)



三種町

議会だより

第23号

平成23年10月14日 発行



もくじ

- ・ 9月定例会の概要 …… 2～3
- ・ 補正予算等審議・決算 …… 4～6
- ・ 7人が登壇(一般質問) …… 7～13
- ・ 臨時会、請願・陳情 …… 14
- ・ 研修報告 …… 15
- ・ 三種の星、編集後記 …… 16

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401

秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

平成23年 9月定例会

9月13日～16日

- 13日は、町長の行政報告と平成22年度決算状況の説明を受けた。その後、3人が一般質問を行った。また、付託された請願・陳情等を各常任委員会にて審査した。
- 14日は、4人の一般質問を行った。
- 15日は、財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告、契約関連議案、条例の一部改正、平成23年度の補正予算を審議し、原案どおり可決した。
- 16日は、平成22年度一般会計及び特別会計の決算を審議し、原案のとおり承認した。また、請願・陳情は各常任委員長の報告どおり決定した。

9月補正予算の内容

財政調整基金へ 4億6,214万9千円
 (補正後現在高 21億5,305万4千円)

| 区 分 | 補正前の予算総額 | 追加補正額 | 補正後の予算総額 |
|-----------------------|--------------|---------------------|--------------|
| ●一般会計 | 99億9,621万8千円 | 5億2,418万2千円 | 105億2,040万 円 |
| 【主な歳出】 | | | |
| ・ 国民文化祭視察研修費 | | 28万 円 (一般財源) | |
| ・ 住宅リフォーム助成事業 | | 130万 円 (一般財源) | |
| ・ 上岩川生活改善センタートイレ水洗化工事 | | 190万3千円 (一般財源) | |
| ・ ふるさと納税報償費 | | 7万6千円 (一般財源) | |
| ・ 民間保育園自家発電機購入費補助金 | | 15万6千円 (一般財源) | |
| ・ 公立保育園自家発電機購入事業 | | 151万2千円 (県支出金、一般財源) | |
| ・ あきたを元気に農業夢プラン実現事業 | | 687万6千円 (県支出金、一般財源) | |
| ・ じゅんさい日本一生産量助成金 | | 237万2千円 (一般財源) | |
| ・ 水稻放射性物質調査事業 | | 27万8千円 (一般財源) | |
| ・ 北金岡駅前公衆トイレ建設事業 | | 495万6千円 (一般財源) | |

| 一般会計予算の補正 | 平成22年度決算 | | | | | | | | | | | | | | 区分 | 審議された議案一覧 |
|-----------|-----------------|---------------------------|-------------------|---------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|-------------------------|---------------|----------|-----------|
| | 水道事業会計歳入歳出決算の認定 | 国民健康保険診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定 | 温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定 | 衛生処理事業特別会計歳入歳出決算の認定 | 介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定 | 介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定 | 土地取得特別会計歳入歳出決算の認定 | 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定 | 公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 | 簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 | 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 | 老人保健特別会計歳入歳出決算の認定 | 国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定 | 一般会計歳入歳出決算の認定 | 議案名 | |
| 1900 | 1900 | 1900 | 1801 | 1900 | 1900 | 1900 | 1900 | 1900 | 1801 | 1900 | 1702 | 1900 | 1504 | 1702 | 賛成 反対 | 採択 状況 |
| 可決 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 認定 | 結果 | |

三種町議会だより

【主な歳出】

| | | |
|------------------------|-------------|--------|
| ・ ゆうばる施設改修事業 | 2,213万2千円 | (一般財源) |
| ・ 道の駅ことおか秋まつり補助金 | 40万 円 | (一般財源) |
| ・ 道路維持橋梁費 (自治会要望の側溝蓋板) | 127万4千円 | (一般財源) |
| ・ 森岳歌舞伎保存会補助金 | 250万 円 | (特定財源) |
| ・ 山本中学校校地法面復旧工事 | 101万9千円 | (一般財源) |
| ・ 学校給食運営費 (給食運搬車購入) | 812万 円 | (一般財源) |
| ・ 財政調整基金積立金 | 4億6,214万9千円 | (一般財源) |

●特別会計

| 区 分 | 補正前の予算総額 | 追加補正額 | 補正後の予算総額 |
|----------------|--------------|-----------|--------------|
| 国民健康保険事業勘定特別会計 | 26億1,171万2千円 | 1,586万7千円 | 26億2,757万9千円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1億5,902万9千円 | 90万4千円 | 1億5,993万3千円 |
| 簡易水道事業特別会計 | 2億3,764万4千円 | 1,561万8千円 | 2億5,326万2千円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 5億7,379万1千円 | 173万2千円 | 5億7,552万3千円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 2億 185万2千円 | 224万6千円 | 2億 409万8千円 |
| 介護保険事業勘定特別会計 | 21億1,919万9千円 | 3,485万8千円 | 21億5,405万7千円 |
| 介護サービス事業勘定特別会計 | 2,997万1千円 | 89万7千円 | 3,086万8千円 |
| 衛生処理事業特別会計 | 1,959万5千円 | 146万4千円 | 2,105万9千円 |
| 温泉事業特別会計 | 2,570万2千円 | 5万7千円 | 2,575万9千円 |

●水道事業会計

| 区 分 | 補正前の予算総額 | 追加補正額 | 補正後の予算総額 |
|-------|-------------|---------|-------------|
| 収益的支出 | 1億4,433万3千円 | 131万3千円 | 1億4,564万6千円 |
| 資本的支出 | 1億1,943万9千円 | 186万 円 | 1億2,129万9千円 |

| その他議案 | | 契 約 | | 条例改正 | | 平成 23 年 度 予 算 | | | | | | | | | | | |
|--------|----------------|---------------|----------------|-------|-----------|----------------|----------------|-------------|---------------|-----------------|---------------------|-------------------|-------------------|------------------|-----------------|------------------|---------------------|
| 業務調査の件 | 常任委員会の閉会中の所管事務 | 比率及び資金不足比率の報告 | 平成22年度財政の健全化判断 | 財産の購入 | 工事請負契約の締結 | 三種町入湯税条例等の一部改正 | 三種町入湯税条例等の一部改正 | 水道事業会計予算の補正 | 温泉事業特別会計予算の補正 | 衛生処理事業特別会計予算の補正 | 介護サービス事業勘定特別会計予算の補正 | 介護保険事業勘定特別会計予算の補正 | 農業集落排水事業特別会計予算の補正 | 公共下水道事業特別会計予算の補正 | 簡易水道事業特別会計予算の補正 | 後期高齢者医療特別会計予算の補正 | 国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正 |
| 19 | - | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 |
| 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 報告 | 報告 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 |

補正予算等審議

一般会計補正予算

問 北金岡駅公衆トイレ建設工事について、森岳駅トイレの改修はお金は町で出したが工事発注等はJR側が行っている。今回は地元業者育成のためにも町で発注してもらえないか。

答 今回の北金岡駅は町で工事発注する。JR関係のトイレなどの改修があった場合は、町が予算を出すなら町の業者を使うよう要望していきたい。



北金岡駅前

問 国民文化祭では三種町は歌舞伎とパッチワークに手を上げる予定であるが、集客のチャンスであり、実行委員会を立ち上げ積極的に取り組むべきではないか。

答 開催県と同規模の観光客が動員されるといって大変経済的なメリットの高い祭典である。実行委員会という形をとるのか、または促進協議会みたいな形をとるか未定であるが、何らかの形で県に働きかけていく。

問 じゅんさい日本一生産量助成金（1キロ当たり50円の助成）の23万2千円はどのように試算したのか。

答 当初見込みで24トン分（1千222万5千円）の予算を計上していた。8月末現在の見込みでは291トンとなった。その不足分を今回計上している。

問 備品購入費の自家発電機の設置場所は。また、火葬場にも必要ではないか。

答 本庁に4台、琴丘支所3台、山本支所3台、公立の保育

園4園である。民間保育園2園は、県補助事業の不足分を町が補助する。火葬場については、今後検討する。

問 ゆうばるの工事請負費の内容は。

答 分湯場からの配湯管に漏れが確認されたことに伴う350mの配湯管更新が1千680万円、ボイラー1台の取り替え47万5千円、集毛器2台の取り替え60万7千円である。

問 分湯場からゆうばるまで配湯管をやり直すということだが、分湯場からタコ足配管で1軒1軒お湯を配湯するより、本管埋設工事が必要と考えるがどうか。

答 今回、ゆうばるは町の施設ということ町でやるが、温泉街に本管ということになれば、これまでの計画を含め、全体的に見直さなければならぬので現段階では難しい。

問 ほとんどの会計が予備費に繰越金を充当している。もつと政策的な経費に回せないのか。

答 特別会計については、一般会計から繰り出されている部分がある。今後、財源的に不足が生じた場合に補てん・調整する意味を持たせ、予備費に計上した。

問 給食運搬車購入予算が計上されているが、行財政改革大綱の中で「学校給食センターの管理・運搬等は民間委託を進め23年度に実施」とある。その進捗状況はどうか。

答 給食センターの民営化については具体的はまだ検討していない。給食運営委員会等と相談しながら今後の方向を考える。

国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

問 当初予算で3%の医療費の伸びを想定していたが、今年度の医療費の動向はどうなっているか。

答 今年度の5カ月分の医療費の動向は22年度と酷似している。今後、このままの状態が続くかどうか、心配している。

平成22年度

各会計決算総括表

(単位：円)

| 区分 会計名 | 歳入・歳出 予 算 額 | 調 定 額 (A) | 歳入決算額 (B) | 歳出決算額 (C) | 歳入・歳出差引額 (B) - (C) | 不納欠損額 (D) | 収入未済額 (A) - (B) - (D) |
|--------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------------|--------------|--------------------------|
| 一 般 会 計 | 11,612,598,000 | 11,340,525,705 | 11,082,781,381 | 10,771,827,888 | 310,953,493 | 22,708,974 | 235,035,350 |
| 国民健康保険 特 別 会 計 | 2,609,767,000 | 2,754,938,088 | 2,618,215,674 | 2,456,122,839 | 162,092,835 | 19,338,799 | 117,383,615 |
| 老 人 保 健 特 別 会 計 | 991,000 | 973,162 | 973,162 | 624,962 | 348,200 | 0 | 0 |
| 後期高齢者 医療特別会計 | 157,895,000 | 158,683,622 | 157,497,222 | 156,591,885 | 905,337 | 85,900 | 1,100,500 |
| 簡易水道事業 特 別 会 計 | 459,330,000 | 470,487,224 | 467,236,284 | 451,461,218 | 15,775,066 | 0 | 3,250,940 |
| 公共下水道 事業特別会計 | 604,093,000 | 677,166,983 | 591,068,450 | 589,317,117 | 1,751,333 | 0 | 86,098,533 |
| 農業集落排水 事業特別会計 | 552,584,000 | 556,298,983 | 550,471,693 | 548,224,618 | 2,247,075 | 0 | 5,827,290 |
| 土 地 取 得 特 別 会 計 | 7,017,000 | 7,015,579 | 7,015,579 | 7,015,579 | 0 | 0 | 0 |
| 介護保険事業 勘定特別会計 | 2,217,427,000 | 2,224,797,593 | 2,217,315,239 | 2,196,436,272 | 20,878,967 | 1,919,118 | 5,563,236 |
| 介護サービス事業 勘定特別会計 | 32,533,000 | 31,371,929 | 31,371,929 | 30,655,667 | 716,262 | 0 | 0 |
| 衛生処理事業 特 別 会 計 | 19,370,000 | 19,702,598 | 19,702,598 | 18,236,670 | 1,465,928 | 0 | 0 |
| 温 泉 事 業 特 別 会 計 | 25,664,000 | 37,165,979 | 20,382,359 | 20,324,100 | 58,259 | 0 | 16,783,620 |
| 国保診療所 特 別 会 計 | 31,642,000 | 31,641,552 | 31,641,552 | 31,641,552 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 18,330,911,000 | 18,310,768,997 | 17,795,673,122 | 17,278,480,367 | 517,192,755 | 44,052,791 | 471,043,084 |

※調定額 …………… 歳入と決定した額

※不納欠損額 …… 調定額のうち、時効の完成等で徴収が不可能と認定され、権利を放棄した額

※収入未済額 …… 調定額から収入済額と不納欠損額を差し引いた額

答 対象者が延べ1千238人、実
施者が、延べ471人である。割
合で4割弱である。

問 子宮頸がんワクチン予防接
種は、対象者が何人どの
くらいの割合で接種を受けている
のか。

答 改めてもう一度精査しなが
ら検討していく。

町民税、固定資産税、国民健康
保険税は延滞金を徴収している。
取っているものと取らないものが
あるのは、不公平であり、当局は
どう考えるのか。

問 町には延滞金徴収条例があ
るが、軽自動車税、農業費
分担金、保育所保護費負担金、町
営住宅使用料、給食費負担金、水
道使用料、下水道分担金・使用料、
農業集落排水分担金・使用料、温
泉使用料、これらは延滞金を取っ
ていない。

平成22年度一般会計決算

決算審議

平成22年度国保特別会計決算

問 22年度国保税は引き上げられたが、決算で1億6千200万円の黒字、前年度繰越金を除いた単年度収支で7千400万円の赤字となった。この要因は一般医療給付費の伸びが0.8%増と試算より大幅に下回ったからである。国保税を算定するにあたり、伸び率をどのようにみていたのか。

答 一般療養費の部分で8%を見込んでいたが、実際の給付実績においては、上半期は見込みの8%に迫る勢いで、対前年比6.9%増と大きく伸びている。下半期は一転して対前年比マイナス4.9%に落ち込み、結果0.8%増でとどまった。
決して当初過大に見ていたわけではない。

問 22年度国保税は引き上げられたが、町民にとって負担の重い税であり、重税感は大い引き上げは必要だったのか。

答 社会保障論という考え方と、国保税は受益者負担という行政側の考え方で、平行線をたどる

部分はある。町としては、今後なるべく加入者の方々に負担をかけない方向で進んでいきたい。

平成22年度水道事業特別会計決算

問 給水車購入における入札指名業者の基準は、どうなっているのか。

答 指名願いが出された段階で、物品の買入等の取扱要綱の基準を満たす物については、A B Cの格付けをし、入札参加の資格を得る。

問 業者の格付けは、自己資本、営業年数、年間販売実績で決まる。工場規模や設備、技術者の有無などが評価基準になく、取り扱い要綱は不備である。変える意向はあるのか。

答 格付けする段階で、他の要素も加味した要綱をつくることについては、改めてどういった点が不備なのかを含めて検討したい。

平成22年度財政健全化審査意見書より抜粋

| 健全化判断比率 | 平成22年度 | 早期健全化基準 | 備考 |
|-----------|----------|---------|-------------|
| ①実質赤字比率 | ▲ 1.91 % | 13.88 % | 前年度 ▲ 3.00% |
| ②連結実質赤字比率 | ▲ 6.77 % | 18.88 % | 前年度 ▲ 7.39% |
| ③実質公債費比率 | 21.6 % | 25.0 % | 前年度 24.1 % |
| ④将来負担比率 | 107.2 % | 350.0 % | 前年度 149.4 % |

注) 実質赤字比率・連結実質赤字比率は、実質収支が黒字の場合、負の値で表示。

①実質赤字比率とは

地方公共団体の一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率。

②連結実質赤字比率とは

地方公共団体の全会計を対象とした実質赤字額または資金の不足額の標準財政規模に対する比率。

③実質公債費比率とは

地方公共団体の公債費（借金の返済金）の水準を計る指標として、平成18年度から導入されており、この値が18%を超えている団体は「公債費負担適正化計画」を策定し、地方債の発行にあたり知事の許可を受ける必要がある。25%以上の団体は、さらに厳しい「財政健全化計画」等を策定し、着実に実施しなければならない。

④将来負担比率とは

地方債の現在高のほか、地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものなど、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。

サンドクラフト2011のイベント効果は



齋藤 清作 議員

齋藤 今年のイベントは7月30日、31日の両日開催されたが、30日はそれほど洪水もなく車もスムーズに進んだように見受けられた。昨年と比較して見学者の人数や経済効果はどうであったか。

また、毎年行われていた花火の打ち上げは、東日本大震災による被災地への考量だけで中止されたのか。

町長 入場客数は2日間で約3万9千人と昨年より1千人ほど多くなった。1日目は夕方からの雨の影響もあり1万7千人で例年の50%、2日目は天候にも恵まれ約2万2千人となった。

経済効果については、釜谷浜海水浴場のシーズン中の来場客数を見ると、例年より



賑わいの釜谷浜

6千人多い9万5千532人となり、昨年より経済効果は高かったと考えている。

花火の打ち上げ中止については、実行委員会も苦渋の決断をしたようである。被災地の心情を考慮したほか、まだ余震が多く続いていた春の段階での決断が必要となったもので、夜間に多くの人が集まるイベントを開催する際のリスク管理も大きな問題であった。

また、今年は15周年記念企画として、外国人プロの砂像彫刻家の招へいや、高校生チームによる砂像甲子園の開催などにより、予算面の問題もあつたようだ。

齋藤 花火打ち上げにはどのくらい経費がかかるのか。また、500円の環境協力金の金額と使い道は。

商工観光 交流課長 花火は200万円の経費がかかる。環境協力金は、総額で86万7千756円集まり、簡易トイレやごみ処理等の経費として使われている。

浅内鉱さい堆積場跡地の利用計画は

齋藤 能代市浅内地区には、昭和43年から昭和62

年までの約20年間にわたり、大館市周辺の花岡黒鉱山で採掘した鉄、銅、鉛その他から出る鉱廃さいの処理のため、浅内堆積場まで約70kmのパイプラインにより鉱廃さいを流送し、第1、第2、第3と合計196万9千㎡の広大な堆積場がある。この土地は、県が能代市及び旧八竜町から買収したものであるが、その際、堆積場跡地の利用は可能であるとの説明がされたと聞いている。可能だとすれば、町として跡地利用の計画があるのか。

か。また、堆積場跡地に大量の土砂が投棄されているようだが、どういう経緯で運搬されたのか。

投棄された大量の土砂の重圧によって鉱廃さいからの鉱害、汚濁水などが海や周辺に流出する恐れはないのか。汚水等の検査は年に何回行っているのか。

町長 堆積場跡地は県有地となつてはいるが、現在、県としては今のところ具体的な事業計画はないとのことである。また、町としても具体的な利用計画は立てていない。

堆積場からの鉱害や汚染、汚濁の状況については、県で定期的に水質検査をしており、海への放流水の水質検査では2カ所で月2回の頻度で水質分析を行っている。平成22年度は、銅、鉛、カドミウムなど28項目すべて基準値以内で安定している。

副町長 土砂については、国交省の能代河川国道事務所の事業で米代河川災害復旧工事による河川の掘削土や阿仁川の災害復旧工事に伴う土砂の搬入出等である。

琴丘地域の 公共施設整備を



宮田 幹保 議員

宮田 琴丘総合支所及び琴丘公民館の老朽化が著しい。地震など災害に耐えられなくなってきた。庁舎内外の設備にしても漏水、漏電、外壁の落下など非常に危険な状態である。現在の建物を修理、修繕など多額の費用をかけて整備するより、今後のラッピングコストなど考えると支所と公民館を統合し、コンパクトで機能的な環境にも良い木造の合同庁舎を建設してはいかがか。

町長 総合支所は改修が可能であるものの耐震補強、防水、外壁など改修に2億円以上の費用が見込まれる。公民館は耐震補強そのものが極めて困難であり、どちらも費

用対効果が有効に得られない。施設を1カ所にコンパクトにまとめて利便性を図るか、地域に分けてきめ細かい対応の分散型か、建設場所も含め地域住民の意見を承りながら慎重に進めていく。



琴丘総合支所

駐車場の拡張を

宮田 スカルパ（野球場）利用者が年々増加している。大会があることに駐車場が狭いとの声が多くなっている。野球場を一周している道

路があるので、大会時は開放すべきである。公園全体を含め、今後県内外に対してスポーツだけでなくいろいろなイベントを誘致していくうえで、も駐車場の拡張が必要である。

町長 今後、行事や大会などで混雑が予想される場合は、総合体育館西側芝生の場所を臨時駐車場として開放すると約100台駐車可能である。

教育次長 外野周囲の道路に關しては、車の重量に耐えられるかどうかなどを含め検討していく。

みたね鯉川地区交流センター整備（グラウンド、水泳用プール）

宮田 交流センター（橋本五郎文庫）東側のグラウンド内にプールは昭和45年に供用開始されたが、小学校閉校前から使用されておらず5、6年経過している。現在も水が入ったままで汚れがひどい。プールサイドは雑草

が繁茂し、衛生上好ましくない。よって解体し、更地にして今後多目的健康（運動）広場（グラウンドゴルフ、ドックラン）などとして活用出来るよう整備できないか。

町長 消防の水利にも利用されておらず環境上も好ましくない。グラウンド全体を利用するには支障があり、消防水利の計画もないので、解体については前向きに検討する。解体後の計画は多目的健康広場に整備との提案であるが、今後検討していく。



旧鯉川小学校プール

町最大イベント「サンドクラフトinみたね」の運営は



後藤 栄美子 議員

後藤

サンドクラフトは、集客数においても町最大のイベントである。今年は第15回目の記念すべき年であったが、花火の中止により初日の人出は未だかつてない程少なく、経済効果もなく、活気のない状況であった。3基の大型砂像や高校生の砂像甲子園はすばりしかったが、周辺では花火がないから行かないという人が何人もいた。町から実行委員会には高額の補助金を出している。多くの落胆の声を聞くと、記念の大会だからこそ多少無理をしても花火を実施すべきだったのではないか。

- ① 町から実行委員会に対し、花火の要請はしたのか。
- ② 花火を中止した理由は。

③ サンドクラフトイコール花火だと思うが、町長の考えは。

④ 県内版の旅行雑誌に三種町が載っていない。町の情報発信やPRはどうしているか。

町長

① 要請はしていない。

② リスク管理の問題、新たな企画により費用がかかったこと及び被災地への配慮などである。

③ 町としては、実行委員会の判断を尊重したい。

④ 対応について担当課に検討するよう指示している。

後藤

花火中止のチラシが全戸配布された。その内容によると、予算がないのは理由にならないと思う。また、実行委員会の決算の概要は。

商工観光 交流課長

15周年記念の新しい事業で予算を捻出できなかった。協賛金や事業収入が多ければ実行できる見込みであった。また、決算の概要については、町補助金510万円、JA補助金10万円、商工会補助金10万円、県補助金440万円、公告協賛金349万円、事業収入158万8千665円などで、収入合計は1千523万6千

円。支出額はまだ確定していない部分もあるが約1千500万円となり、繰越金は約24万円の見込みである。

放射性物質の影響と対応は

後藤

東日本大震災による原発事故により、放射性物質の影響が深刻となっている。

秋田市内で販売された腐葉土や、他県から購入した稲わらから放射性物質が検出され、牛肉の問題をはじめ国内に広まった。

- ① 町内にも畜産農家がいるが、状況と今後の対応は。
- ② 土壌改良剤を使用した施設改修工事で土から放射性物質が検出されたとの報道があった。スカルパ野球場の整地工事でも震災により工事が遅れたが、材料等の確認を実施したのか。
- ③ 県内の保育園、幼稚園で土壌改良剤を使用した工事で比較的高い放射性物質が検出されたとの報道があった。町の状況と今後の工事予定は。
- ④ 農家や町民、消費者に不安

を与えないためにも、町独自に放射線量成分測定機器の購入も視野に入れた放射性物質への対応ができないか。

町長

① 肉用牛の飼育農家及び馬の飼育業者とも検査の結果、問題はなかった。今後も県と情報を共有し、飼育農家と連絡を密に対処する。

② 工事は震災で材料の搬入が遅れ、4月22日で完了している。検査はしていないが、今月中に業者で自主検査する予定である。(会期中に不検出との連絡あり)

③ 町内の保育園ではそのような工事はなかった。また、今後も予定はない。

④ 現在、三種町内の農産物からは検出されていない。今後、国、県、JAなどと協力のもと、検査品目の充実と正確な情報の共有、発信に努めたい。放射性物質の検査に関しては、各自自治体が色々な動きをしている。費用や安全性という面から考えても問題があると思うので、どのような形がいいのか機械の購入も含め、今後検討したい。

財政見通しに対する 具体的対策は



平賀 真 議員

平賀 このほど財政の中・長期の見通しが公表されたが普通交付税減額の見込みで計算されている。今後、町税を増収させるための具体的対策を立てているのか。町民に対し、前向きになれる施策を打ち出していくべきではないか。

町長 財政の中・長期見通しは、平成23年度当初予算ベースで、地方交付税は一本算定となる平成33年度で現在より約11億円、約23パーセント程度減額になると見込んでいる。町税は景気低迷、人口減少により毎年1パーセントの減と見込んでいる。歳出を現行の行政サービスとした場合、平成28年度まで

は黒字で推移し、平成29年度から赤字に転じ、平成33年度には単年度で約4億円の赤字と見込んでいる。

将来にわたり持続可能な財政基盤を確立するため行財政改革大綱を策定し、自主財源の確保、町有施設や事務事業のさらなる見直しなどを推進している。

町税は、産業振興や雇用対策の推進により町民の所得向上を図りながら増加に結びつきたい。収納対策では、納税者の公平性から町税等収納対策会議及び秋田県滞納整理機構と連携を図り、収納未済額の減少に努める。

平賀 前向きになれる施策を具体的に伺う。交付税以外にも国、県の様々な補助金（事業）があり、情報収集に努め、積極的に取り組み早く予算化すべきではないか。

町長 現在、地元にある企業を大事にし、雇用の確保、さらに拡大できればと考えている。建築・建設関係に對しては、住宅リフォーム助成事業を継続し、公共建築物

の改修・改築も積極的に推進していく。

農業に関しては、じゅんさいの里活性化協議会を設置し、県の補助金500万円（3年間）を含め必要な補助金を出し、5年後販売高10億円を目指す。水稲だけではなく、野菜などの複合経営をさらに推し進め、農家の手取りを増やしたい。

敬老式の実態と 今後の在り方は

平賀 年間、町主催の式典や行事が日々開催されているが、参加率等開催目的は十分達成されているのか。また、開催後の検証作業はどのように進められ、次年度へ申し送りされているのか伺いたい。

特に毎年開催されている敬老式の記念品に対する感想を把握しているか。祝詞も含め検討すべきではないか。また、本来、敬老の祝いに入るべき喜寿・米寿の該当者をなぜ招待しないのか。式典後の記念

撮影も良い記念になるのではないか。

町長 敬老式に関しては、平成21年度161人、昨年は148人、今年は132人の参加者であった。

式典開催前に前年度の反省点を含め話し合い、実務者同士で会を重ねている。今後、記念品に対するアンケートを実施するなど集合写真、喜寿、米寿の参加も含め、詳しい検証作業を進めていく。



今年は132人の参加



清水 欣也 議員

工事入札制度の運用は適切か

清水

合併して5年が過ぎた。資格審査及び指名審査、

低入札価格調査制度、入札予定価格の事前公表など、工事の実施に関する種々の仕組みや基準がとられ運用されてきたが、今後の適正な取り扱いに繋げる意味においてこれまでの運用実態を総括してみる必要がある。

① 町当局は、合併後これまで制度や基準等について、適正に運用されてきたと認識しているか。
② 制度等について、今後の改善や見直しをする考えはないか。

町長

① 合併前には旧町ごとにそれぞれの制度により運用していたものを、合併に際してその取り扱いの統一を図り、現在に至っている。

その運用にあたっては、国、県、他の市町村の動向を踏まえて、必要に応じてその都度手続きの改善や運用見直しなどを行っている。

② ここ数年、予定価格の事前公表や最低制限価格制度の見直し、調査基準価格の引き上げなど、制度の見直しを行ってきた。

今後、県や近隣市町村の運用を参考にしながら、必要に応じて改善や見直し等を実施していく。



耐震改修工事が進む八竜中

行政財産使用料の徴収が極めて不適正

清水

行政財産の使用料の徴収に関し、法令違反や

不適正な取り扱いと考えられるものが多岐にわたっている。
① 当局は、これらの実態についてどのような認識をしているか。

② 関係条例の見直しを含め、統一した徴収ルールを確立すべきであると思うが。

町長

① 指摘のとおり、使用料徴収条例に基づかないで徴収されているものが多く見受けられる。

また、その他のものについても不適切と言える事務処理が見られるので、今後使用許可及び徴収事務等について、条例に基づき適正に行うようにする。

② 旧町のときからの慣例を引き続いて処理をしているものや、積算根拠が異なるものなど徴収基準が統一されていないケースも見られるので、準拠する基準等を明確にするほか、条例の改正も検討する。

農産物の放射性検査に補助を



大澤 和雄 議員

大澤 山形県川西町では、農産物を自ら販売する農業生産者が放射性物質に係る安全性を確認するために、自主的に検査を行う場合の検査費用について、町が一部補助する支援制度を実施している。検査品目は1申請者につき2品目までとし、補助金額は放射性物質測定機関に支払う検査料の2分の1以内の額か、1品目につき1万円のうち、いずれか低い額となっている。検査機関は、国の検査基準に基づき、検査を実施し、検査証明書を発行できる機関としており、8月1日以降の検査から補助対象としている。本町でも、農家が自主的に検査を行った場合、検査費用の一部を補助できないか。

町長 現在、県では独自に主要品目の農産物の安全確認検査を行っており、検査品目数も増やしている。また、秋田やまもと農協では、えだまめ及びじゅんさいの検査を継続実施し、不検出となっている。現段階では国、県の指導のもと、現行の検査体制、実施方法により行いたいと考えている。

個々の農家の検査料の補助については今後の状況を見て判断していきたい。

学校を避難場所として機能強化を

大澤 本町では、現在、学校の耐震工事、老朽化に伴う改修等が計画的に進められている。学校等の施設は、災害時の応急避難場所としての役割を果たすことから、耐震化にあたって、そうした機能を備えていかなければならない。このため、国は貯水槽、備蓄倉庫、トイレ、自家発電装置などの整備も補助対象とすることにした。

本町でも防災強化のために順次、整備していかねばならないのではないか。



避難場所としても強化を（森岳小）

町長 小中学校の耐震化の進捗状況は、緊急度の高い琴丘中学校は改修を終え、今年度は八竜中学校と森岳小学校の改修を実施している。そのほかの校舎についても来年度以降、順次、耐震改修を進めていく。

また、学校施設、特に小学校はその地域の核となり、災害発生時には応急避難場所として中心的な役割を果たすものと想定される。災害時における避難場所と

しての対応等については、9月5日付けで秋田県教育委員会より指針が示された。今後はその指針に沿って関係部署と事前協議を進めていきたい。また、秋田県では防災計画の見直しに着手しており、町としても地域防災計画の見直しを行うことになる。その際に応急避難場所として学校施設を検討していくべきものと考えている。

他に

「住宅火災警報器設置について」を質問しました

子ども・子育て 新システムの問題点



伊藤 千作 議員

伊藤

現行保育制度では、市町村は保育サービスを提供する義務を負っている。

新制度では、市町村の保育実施の義務がなくなり、利用者は自己責任で保育所を探し、利用することになる。

公的保育を解体し市場化を進めれば、保育は金次第となる。

保育の充実は、制度を変えなくても、公的責任と公費充当で保育予算を増やせば解決できる。

町長

現在、国からの中間文書によると、子ども園の創設や保育サービスの量の拡大に向けて、企業などの参入や幅広いサービスの公費助成などについて触れている。

国で検討中なので、今後の行方を見守りたい。



充実した保育サービスを

不妊治療に町の助成を

伊藤

現在、不妊症の疑いがあるというのは10組に1組という確率で、不妊症は特別なことではない。

不妊治療は時間がかかり、肉体的にも精神的にも経済的にも負担が大きい。多くの人が悩むのが高い治療費のことである。

特に、体外受精は健康保険がきかず、排卵誘発の薬代を含め、全額自己負担で1回30万円から50万円かかる。人口減少は重大な社会問題でもあり、当町としても助成を考えたらどうか。

町長

町としても少子化を食い止めるために子ども手当や児童手当と同等か、それ以上に助成が必要であると認識している。

町としては、県の助成と同様の金額、回数を限度として助成を行うよう早急に検討し、次の定例会に向け制度の導入を図っていく。

羽根川ダム湖周辺散策路の整備を

伊藤

ここ数年手を加えていないので、散策路の役割を果たしていない状態である。草はぼうぼうと伸び放題で、5から6カ所ある木の橋は古くなって板が抜け落ち、今にも崩れ落ちる状態で、橋の役割を果たしていない。

以前は木の種類が分かるように名札をつけていたが、ほとんど落ちて木の種類が分からない状態である。多額の予算を使わなくても整備すべきである。

町長

現状は草が生い茂り、木造の橋、ガード用すりや木の種類が分かるように表示していた名札も破損している。

今後、できるだけ早期に整備方法等を検討し、対応していく。

第3回 臨時会

日時：平成23年7月26日(火)

原案可決 財産の購入

- ・購入物品 住民情報システムサーバ等一式
- ・契約金額 22,045,800円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税額1,049,800円)
- ・契約相手方 株式会社アチカ
- ・納入期限 平成23年9月30日

原案可決 工事請負契約の締結

- ・契約目的 八竜中学校校舎耐震改修工事
- ・契約金額 103,950,000円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税額4,950,000円)
- ・契約相手方 成田建設株式会社
- ・工 期 平成24年1月31日まで

原案可決 平成23年度一般会計補正予算

- ・主な内容…ゆめろん屋上防水工事5,654,000円

第4回 臨時会

日時：平成23年8月23日(火)

原案可決 専決処分の承認

- ・平成23年度一般会計補正予算1本

原案可決 平成23年度一般会計補正予算

- ・主な内容…緑の分権改革事業3,581,000円

請願 陳情 審査報告

● 請 願

| 件 名 | 請 願 者 氏 名 | 紹介議員 | 審査委員会 | 結 果 |
|-----------------------------|------------------------------|-------------------------|-----------|------|
| 漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置についての請願書 | 三種町八竜漁業協同組合 代表理事組合長 田中 保則 | 後藤栄美子 清水 欣也 児玉 重吉 | 産業建設常任委員会 | 採 択 |
| 米の先物取引試験上場の中止を求める請願 | 秋田県米価対策共闘会議 議長 佐藤 長右衛門 | 伊藤 千作 大澤 和雄 | 産業建設常任委員会 | 継続審査 |

● 陳 情

| 件 名 | 陳 情 者 氏 名 | 審査委員会 | 結 果 |
|---|---|-----------|-----|
| 「地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書」の採択等を求める陳情書 | 秋田弁護士会 会長 三浦 清 | 総務常任委員会 | 採 択 |
| 30人以下学級実現を求める意見書採択についての陳情書 | 秋田県教職員組合 執行委員長 伊藤 正通 秋田県教職員組合 能代山本支部 支部長 佐々木 徹 | 教育民生常任委員会 | 採 択 |
| 「義務教育費国庫負担制度の堅持及び国庫負担2分の1復元」を求める意見書採択についての陳情書 | 秋田県教職員組合 執行委員長 伊藤 正通 秋田県教職員組合 能代山本支部 支部長 佐々木 徹 | 教育民生常任委員会 | 採 択 |
| 拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について（お願い） | 福岡県筑後市長 中村 征一 福岡県大川市長 植木 光治 福岡県大木町長 石川 潤一 環境自治体を目指すちっご委員会 委員長 荒木フサエ | 教育民生常任委員会 | 採 択 |
| 地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書 | 連合秋田能代地域協議会 議長 薄井 司 | 総務常任委員会 | 採 択 |
| 学校給食に地場産野菜活用の一層の向上を求める陳情書 | 学校給食に地場産物の活用を求める会 秋田県革新懇筆頭代表世話人 山内 満 | 教育民生常任委員会 | 採 択 |

秋田県町村議会 議長会議員研修

町村議会議員が一堂に会し研修会を実施

県町村議会議長会主催で7月11日、県市町村会館において議員研修会が開催された。研修会には議員と事務局17人が出席、県内町村からは170人が参加し、2人の講師の話に熱心に耳を傾けた。

講演では、はじめに登壇した町村議会議員共済会の飯田厚副参事が「議員年金制度の廃止について」と題し講演、この法律が平成23年6月1日から施行されたことを受け、主な改正内容を詳細に解説、続いて政治アナリストの伊藤惇夫氏が登壇し「今後の政局展望」と題し、今後の政局、政治展望そして3・11の東日本大震災に対する震災復興政策など課題山積と混乱の中での日本政治の行方や問題点などを講演されました。

講演の中で特に印象に残ったのは、今後の政局展望で日本政

治は、当分の間、震災復興が中心となり、その影響を受ける地方財政は、さらに厳しい運営をせざるを得ないこと、そしてこの難局から脱するためには、強いリーダーが必要であるが現状は厳しいと締めくくった。

しかし、今こそ国も地方もこの難局を打破するため、日本の底力を見せる時ではないかと強く感じた。

児玉 重吉 記



秋田県町村議会 広報研修会

7月11日（月）、秋田市のルポールみずほで議会広報研修会が開かれ、三種町議会広報編集特別委員全員が参加した。講師は城市創氏、演題は「議会だよりのチェックポイント」

構成を決め、何を伝えるか、住民の関心に応えているかを検討することである。

他に、数多くの課題について指導を受け、最後に各町村の議会だよりの批評を行った。

伝えることの難しさも実感したが、広報委員全員で町民に見て読んでもらう議会だよりにしたいと思った。

袴田 隆 記

「イント」と題し、講演を行った。チェックポイントとして、第一に、議会だよりの発行意義は、議会の活動を住民に正しく理解してもらうことである。

第二に、編集の前段階で考えておきたいことは住民がどんなことに関心を持っているか、マナーの脱却をどうするかなどである。

第三に、編集とは何かということである。「議会だより」は読者と議会、議員をつなぐ「橋」であり、大切なのは内容を間違いないく理解してもらうための工夫である。

第四に、編集会議では全体の



スター 星

能代商業高校野球部

石川大成
(山本中出身)



2年連続甲子園出場
で秋田県勢14年ぶりと
なる初戦突破を果た

し、ベスト16まで進むことが
できました。去年の大敗の悔しさが今
年の快進撃の原動力になったと思
います。甲子園で2回も校歌を歌
うことができ、今年の夏はとて
も長い夏になりました。

1番印象に残っているのは3回
戦の如水館戦です。延長12回2死
から勝ち越しのホームを踏んだ瞬
間は一生忘れません。他にも甲子
園での思い出はたくさんありま
す。ホテルで仲間と過ごしたこと、
大阪の暑い気温の中で走り込みを
したことなど、生涯忘れることは
ないだろうと思います。最後の夏
を甲子園で終えることができ本
当によかったです。

私が高校野球で学んだことは、
感謝の気持ちを大切にすることは
です。指導者の方々、71名の野球部
員、そして母。ありがとうございます
ました。



能代商業高校野球部

岳田諒平
(山本中出身)



昨年25年ぶりに甲子園に出場し
たときは、初戦で鹿児島実業と対
戦し0-15と大敗しました。この
とき私はアルプス席で応援してい

ましたが、全国との力の差を見せ
つけられ、とても悔しい思いをし
ました。

あれから1年。その悔しさをバ
ネに練習に取り組んできました。つ
らい練習にくじけそうになったと
きは鹿児島実業戦を思い出し、自
分自身にあの悔しさを何度でも何
度も言い聞かせながら耐えてきま
した。その結果、今大会ではレギュラ
ーとして甲子園の大舞台で全国の
強豪校に2勝。その勝利に貢献でき
たことは大変うれしいことでした。

しかしながら、自分の弱さや課
題もたくさん見つかりました。こ
の課題を今後の練習で克服し、も
う一度甲子園に出場して全国の頂
点を目指したいです。
応援ありがとうございます。



編集後記

東日本大震災から6カ月
以上経過した今も復興はお
ろか、復旧すらままならな
い現状にいら立ちと怒りが
湧いてきます。大震災と台
風12号で犠牲になられた
方、そして被害を受けられ
た方にご冥福とお見舞いを
申し上げます。

9月定例議会(22年度決
算)が終わり、様々な問題
が見え隠れしています。大
きな課題として財政の中
長期の問題は今から取り組
んでいかなければならない
大きな課題と思われました。

もう一つは、町の基幹産
業である農業に目を向け、
安定した所得の確保と元気
のある農業施策に農家とと
もに取り組んでいく必要が
あると思います。

当町から放射性物質は検
出されませんでした。原
発による被害が一刻も早く
終息することをお祈りいた
します。

小澤 高道 記